



一生懸命自分なりに活動していました

生まれも育ちも下立地区の沖村さんは、高校を卒業してから30歳までは青年団として地区の行事に参加していました。30歳を過ぎてからは地元の内会で30歳〜60歳で構成する青壮年会の立ち上げに協力しました。「昔は人数が大勢いたこともあって、30歳くらいになったら青年団は卒業と言われていました。でも、青年団活動が終わったら、若者たちが集まる機会が全くなくなるので、新たに青壮年会を立ち上げるようになりました」と、沖村さんは当時を振り返ります。「青年団の時は集まるのが楽しみだったけれど、50歳を過ぎた頃からは地域のことを考えるようになって、定年後は生まれ育った地域に何かしらの形で関わりたいという思いがありました」と話します。

青壮年会の立ち上げに関わった30代

25年間背伸びしない活動を続ける

民生委員になったきっかけは48歳の時に、前任の民生委員が亡くなられ、沖村さんに後任の話が出てきたことでした。「民生委員制度があることは知っていたけれど、最初は仕事の内容が全然分かりませんでした。民生委員になつてからは、積極的に研修に参加して活動内容がやっと分かってきました。その頃は、三世帯同居が多かったですね。一人暮らしや二人暮らしの見守りが今と比べたらとても少なく、民生委員の在り方も違っていました」と話します。

「民生委員や児童委員は、ここまでやらなければいけないというのは決まっていないんです。だけど、自分の思いとしては最低でもこれだけやろうと、一つのハードルを決めていて、例えば見守りだと、毎日見ないといけない人、1週間に1回の人、1カ月に1回の人と、段階付けをしながら活動していました」と話し、できる範囲の目標を設定することを心がけていました。

25年4カ月、民生委員を務めた沖村さんですが、一度も辞めたいと思っことはありませんでした。「これは、自分に協力してくれた、地域の方や、妻の協力のおかげだと思っています。皆さんには本当に感謝しています」と話します。



夫婦で藍綬褒章授章式に出席しました
(1列目左から2番目 沖村さん、2列目左側 妻 幸子さん)



今年4月に永年の民生委員活動に対する功績をたたえ、国から藍綬褒章を受章された下立地区の沖村武志さん。青年時代から地区の活動に携わり、約25年にわたって民生委員活動を続けてきた思いについてお聞きしました。

生まれ育った地域のために 四半世紀の思いをつなぐ

先行的な取り組みが 実を結ぶ

今年の春には長年の民生委員活動が認められ、藍綬褒章を受章しました。民生委員として、旧宇奈月町の頃から携わった孤独死を防ぐための活動が評価されたのです。これは、企業やお店が協力した見守りネットワークや独自の福祉地図を活かした災害情報ネットワークの作成といった、当時でも全国的に珍しい活動でした。当時のこの活動は合併後も黒部市全域に引き継がれ、今の見守り活動にも役立っています。「自分一人の力ではなく、皆さんの協力があつたから25年間民生委員を続けることができました。民生委員は一人ひとりの人柄に任せられているけど、個人が評価されているのではなく、民生委員活動が大きく評価されていると思うので、自分が代表して受け取るうという気持ちでいただきました」と話します。

実際に過去にも、見守りネットワークによって、飲料販売員が異変に気づき、一人暮らしの方が亡くなっていた事に気づけた事例もありました。「あの時は、周りの住民や企業も協力してくれる見守りネットワークの良さをとても実感しましたね」と地域の皆さんのつながりに感謝しています。



天皇后両陛下から授与された賞状

バトンを渡し、 次を支える

沖村さんは、次の世代にバトンを渡すことを一番大事なことで考えています。「もう1期務めることもできましたが、74歳で辞めました。余力のあるうちに退いて次の人にアドバイスしたり、地域の情報を教えるのもOBとしての役目じゃないかと思っただけです。そうしないと新しい民生委員は、何から始めればいいのかから困ってしまうので、引き継ぎをしっかりと行うことが大切です。後任の民生委員からは時々電話がかかってくるので、今でもアドバイスしています」沖村さんは現在、下立地区社会福祉協議会の役員としても地区の活動に協力しています。

今回の取材で、家庭菜園をしたり、旅行に行ったりと夫婦の時間も楽しみながら、次の世代に思いをつなぎ、地域を大切にしていくな沖村さんの人柄を感じることができました。一人の活動者だけに任せきりにすることはなく、周囲の人たちも地域のためにできることを意識し、協力し合うことで新たな担い手へスムーズにバトンタッチができます。次の世代にバトンを渡すことは誰もが安心して暮らせる地域づくりに向けた活動をより良いものにしていくために大切なことだと思います。

ふくしスマイル ワーカー

福祉に携わる人のお仕事拝見!

スマイル
Vol.55



医療法人社団 平成会 桜井病院
作業療法士
よしだ ゆうこ
吉田 祐子さん

趣味 布草履づくり

利用者さんに作っていただいた革のコインケースと、バックです

訪問時に心がけていることや
気を付けていることはありますか？

「ご本人の興味や大切な活動とは何か考えながら、障がいがあってもそれが実現できるよう、リハビリの内容を決めていくことで、一人ひとりの活動の幅を広げられるようお手伝いしています。」

また、寝たきりの方でも、生活環境や道具を工夫すると、利用者さんのできることが増え、自信に繋がります。寄り添って、ゆっくり話しながらご本人の意思を大切にできる部分が訪問リハビリの良いところだと思います。実際に、動かなかった右手がリハビリを重ねたことで、動くようになった時はご本人と一緒に涙を流して喜び合ったこともあります。



楽しみながら手先の動きも意識しています

写真レポート



7月21日(土)黒部市民会館

チャリティー友愛セール

黒部市地区ボランティア部協議会が開催し、大変賑わいました。収益金295,920円の一部は市内のボランティア活動推進のために活用されます。



7月25日(水)栄町公民館

栄町シルバー談話室(三日市地区)

参加者が自分の願いと家族の願いを短冊に書き、七夕飾りを作りました。自分と家族の健康や幸せを願った後は脳トレで楽しく過ごしました。

第13回黒部市社会福祉大会

第13回黒部市社会福祉大会が7月14日(土)、黒部市国際文化センターコラールで開催されました。当日は、約400名の参加のもと、黒部市の福祉活動に貢献された方々への表彰が行われました。大会決議では、「誰もが安心して暮らせるやさしい福祉のまちづくり」を目指し、「人材育成の環境整備」、「地域福祉推進の場づくり」と拠点整備、「財源の確保」の3点を掲げ、参加者一同で決議を行いました。



総募金額 **75,884円**

会場にて、西日本豪雨災害義援金の呼びかけを行いました。

皆様のご協力、
ありがとうございました



受賞者の皆さま

黒部市社会福祉協議会会長表彰(社会福祉事業功労)

【個人の部】

村椿地区社会福祉協議会
・村田 洋子(村椿)

大布施地区社会福祉協議会
・森家 和哉(大布施)

荻生地区社会福祉協議会
・後藤 清和(荻生)
・川端 幸子(荻生)

若栗地区社会福祉協議会
・川村 昭一(若栗)

黒部市民生委員児童委員協議会

・中村 勝吉(石田)
・飯野 剛(石田)
・開 喜美子(村椿)
・中田 美智子(三日市)
・浦田 幹子(三日市)
・中田 浩子(三日市)
・大辻 菊美(荻生)
・中島 久美子(荻生)

黒部市遺族会

・片山 弘(大布施)
黒部リーディンググループ
・安原 麗子(田家)
黒部市更生保護女性会
・澤田 くに子(三日市)

【団体の部】

・関西電力株式会社
黒部川水力センター

黒部市社会福祉協議会 会長感謝状の贈呈

【個人の部】

・故 中田 圭子(三日市)
・故 東 昇一郎(大布施)
・木島 哲志(村椿)
・四月朔日 裕司(若栗)

【団体及び企業の部】

・JAくろべカトリアホールやすらぎ
・黒部民謡清韻会

黒部善意銀行理事長 感謝状の贈呈

【個人の部】

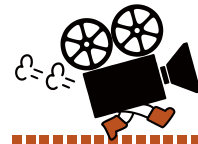
・中島 勝治(石田)

【団体及び企業の部】

・北陸労働金庫黒部支店
地域常任推進委員会
・橋本英園・傘寿記念
個展&歌仲間歌謡ショー

黒部市共同募金委員会 会長表彰

・黒部市立高志野中学校
・中井酒店
・株式会社ニイカワポータル



来て見てヤンバイ映画館

[開催時間] 13:30から 入場無料

9月5日
(水)

「南極料理人」

出演:堺 雅人

場所 黒部市コミュニティセンター

お知らせ

秋まつりだよ!みんなで遊ぼう♪
-児童委員が応援します、子育てすくすく家族-

たくさんの催し物があります。
ご家族でぜひお越しください!

平成30年 9月24日(月)

[時間] 10:00~12:00(受付11:30まで)

[場所] 黒部市国際文化センターコラール
マルチホール

[内容] さかなつりゲーム・スカットボール
ストライクボウリング・バルーンアート
わなげ・わたがしづくり・ポップコーン など

[対象] 小学生以下の親子

[参加] 無料
※当日受付で無料引換券をお渡しします

お問い合わせ

黒部市民生委員児童委員協議会 TEL(0765)54-1082

今月のクラブ

囲碁・将棋クラブ
金曜日(7日・14日・21日・28日)
※28日は、秋場所(ミニ大会)

元気カラオケクラブ
木曜日(13日・27日)

手芸部 木曜日(20日)

誕生日のお祝いに
福祉センターの入浴券はいかがですか? **11枚綴り
3,000円**

民生委員児童委員と心配ごと相談

行政相談員と行政相談 予約不要

黒部市福祉センター(金屋464-1)

9月11日(火) 13:30~15:30

黒部市立中央公民館(宇奈月町浦山2100-2)

9月13日(木) 13:30~15:30

弁護士と法律相談 予約受付/9月3日より

黒部市福祉センター(金屋464-1)

9月18日(火) 13:30~15:30

同じ相談内容の場合は、
お一人様につき3回までとさせていただきます。

富山県東部生活自立支援センター

生活自立支援相談 予約受付/9月3日より

黒部市福祉センター(金屋464-1)

9月10日(月) 10:00~11:30

9月

8日(土) こぶしカラオケ愛好会	10:30~
12日(水) やまびこ会	10:30~
14日(金) 桜扇会 舞踊	10:00~
18日(火) 松乃会くろべ民謡民舞	11:00~
22日(土) YKK社友会歌謡同好会	10:30~
25日(火) ことぶきの会	10:30~
29日(土) カラオケうた仲間	10:30~
30日(日) 北川歌謡ショー	10:30~

休館日 毎週月曜日(3日・10日・17日・24日)

※2日(日)は敬老会の為、お風呂のみご利用いただけます。

10月

6日(土) 魚津カラオケ友好会	10:30~
13日(土) #なんでもや~楽団b	10:30~
14日(日) 日本海歌謡研究会	10:30~
16日(火) 歌謡サークル発表会	10:30~
21日(日) カラオケあえの風	10:30~
27日(土) 華の会歌謡ショー	10:30~

休館日 毎週月曜日(1日・8日・15日・22日・29日)

黒部市福祉センター [利用時間] 8:30~16:30

[入浴時間] 10:00~16:00



沖村武志さん



2018
9月 Vol.150



【編集・発行】 社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会 平成30年9月1日発行

この広報誌は一部共同募金の助成金により発行されています。

うなづき

【参加費】150円(入館料のみ)



介護予防通所事業
生き生き倶楽部
黒部市宇奈月老人福祉センターにて

【時間】9:30~15:00 【対象】65歳以上の方

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	31	1
2	3 健康体操A	4 レクリエーション	5	6 レクリエーション	7 自力整体	8
9	10 レクリエーション	11 健康体操B	12	13 健康体操C	14 スポレク	15
16	17 敬老の日	18 自力整体	19 スポレク	20 スポレク	21 レクリエーション	22
23	24 振替休日	25 季節行事	26 季節行事	27 季節行事	28 季節行事	29
30	10/1	2	3	4	5	6

時間/10:00~11:00

※■は休館日

健康体操A 石田みどり先生 健康体操B 村田あゆみ先生
健康体操C 岡崎 明子先生 自力整体 稲田 清美先生
スポレク 健康増進課職員 季節行事 生き生き倶楽部運動会

くろべ

【参加費】300円(入館料のみ)



介護予防のための
元気はつらつ体操教室
黒部市福祉センターにて

【時間】10:00~11:00 【対象】65歳以上の方

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	31	1
2	3	4 自力整体	5	6 自力整体	7 ゆる体操	8
9	10	11	12 自力整体	13 ゆる体操	14 自力整体	15
16	17	18 健康体操A	19 健康体操A	20	21 健康体操A	22
23	24	25 ゆる体操	26 ゆる体操	27 健康体操A	28 健康体操B	29
30	10/1	2	3	4	5	6

時間/10:00~11:00

※■は休館日

健康体操A 樋口 瞬先生 ゆる体操 佐々木智生先生
自力整体 稲田 清美先生 健康体操B 泉 一郎先生



足のお手入れ(フットケア)を してみましょう!

日頃から足全体、爪の状態を観察しましょう。爪が厚くなると、足に力が入りにくくなったり、靴にあたり痛みがでたりする場合があります。症状が悪化すると、歩行困難や転倒の危険性があります。

〈お手入れ方法〉

- ①お風呂で足の指の間までしっかりと洗う(足浴でも可)
- ②お風呂あがりに、指の間をよく拭く
- ③爪が伸びていたら切る
- ④クリームなどを使用し、保湿する

お問い合わせは黒部市宇奈月老人福祉センター
TEL.(0765)65-1820 担当:山内まで



今月の表紙

日が沈む時間も早くなり、雲の隙間から差し込む夕日が4人を照らします。夏の終わりを感ずる荒俣海岸で思い切りはしゃぐ姿からは青春を謳歌している様子が伝わってきます。これから涼しい秋の風は吹くのでしょうか。

編集 高村

福祉・ボランティアに関することは

本所 黒部市福祉センター内

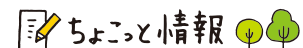
〒938-0022 黒部市金屋464-1 TEL.(0765)54-1082(代表) FAX.(0765)52-2797
TEL.(0765)57-1089(ケアセンター・ホームヘルプセンター) Eメール kurobesw@ma.mrr.jp

社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会

http://www.kurobesw.com/

宇奈月支所・黒部市東部地域包括支援センター 黒部市宇奈月老人福祉センター内

〒938-0862 黒部市宇奈月町浦山2111 TEL.(0765)65-1165 FAX.(0765)65-9533
Eメール tobu-houkatsu@kurobesw.jp



ちよこつと情報

【黒部市の人口】41,488人 【65歳以上の人口】12,753人 高齢化率 30.7% H30.7.31 現在